

rara-ca

Vol.10
2025 AUTUMN
セントラル愛知交響楽団
特別情報誌

音合わせ心ひとつに「ら」でチューニング… Central Aichiの情報をお届け

11/8 土
開演 14:30

第214回定期演奏会 「アメリカのロマン主義」

愛知県芸術劇場コンサートホール [出演] 角田鋼亮、ニコライ・クズネツォフ(P)

プログラム
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第3番 二短調 Op.30
バーバー:弦楽のためのアダージョ Op.11
ハンソン:交響曲 第2番 Op.30「ロマンティック」

指揮 **角田鋼亮**

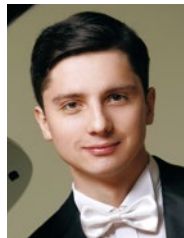
SPECIAL MESSAGE



様々な「ロマンティック」を感じて頂いている今年度ですが、今回はアメリカの「ロマンティック」をお聴き頂きます。冒頭から大曲です。実はラフマニノフのピアノ協奏曲 第3番をセントラル愛知響と取り上げるのは、ラ・フォル・ジュルネ公演に続き今期2度目となりますが、このピアノ協奏曲はピアニストの演奏によって全く印象が変わるので、ニコライ・クズネツォフさんのアプローチがとても楽しみです。この作品がニューヨークで初演されたという事で、後半はアメリカの作曲家の作品に繋がります。

まずはバーバーのアダージョを。嚙り泣くような、あるいは縫うような祈るような旋律が印象的な作品ですね。数々のテレビドラマや映画にも使用されました。最後は、バーバーと並んで新ロマン主義の作曲家と言われているハワード・ハンソンの交響曲 第2番「ロマンティック」を。この曲を取り上げるところから、シーズンテーマ『ロマンティック・セントラル』が始まりました。ヨーロッパのロマン派音楽の残照にして、アメリカ映画音楽の新たな光のような魅力的な音楽、なかなか演奏される機会は少ないかもしれませんが、一聴して虜になること間違いなしだと思います。それでは、アメリカの「ロマンティック」をどうぞお楽しみ下さい。

ピアノ ニコライ・クズネツォフ



みなさん、ご注目! ロシアからとびきり素敵なピアニストがやってきます。その名はニコライ・クズネツォフさん。モスクワ出身、音楽一家で育ち、3歳からピアノと二人三脚の人生! グネーシン音楽学校からチャイコフスキー音楽院、そして世界屈指のピアノの達人ルガンスキー先生にも師事したという、筋金入りの“ロシアピアニズム”の継承者です。

国際コンクールの優勝歴がたくさん。中でも、国際音楽コンクール優勝者のみエントリーできる「モンテカルロ・ピアノ・マスターズ」で優勝。この時は、モノコ公アルベル2世からトロフィーを授与されたとか!

演奏テクニック…勿論ばっちり! でもそれだけではなく、ふっと心に響くような繊細さもあり、まさに「強くてやさしい」音。これは生で聴かないともったいない! 乞うご期待!

プラチナ席¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書)

10/1 水

角田鋼亮による定期演奏会をより楽しむレクチャー講座

～定期演奏会へのプレリユード～

◎18:30～20:30(終了予定) ◎カワイ名古屋2F コンサートサロン ブレー
[講師] 角田鋼亮 ◎第214回演奏会の解説 ◎マエストロへの質問コーナー(応募フォーム「質問欄」に記入)

◆入場無料 ◆定員:80名(要事前申込・応募多数の場合は抽選)
◆募集期間:8/31(日)～9/21(日) ◆結果発表:9/22(月)20:00頃



1/24 土
開演 14:30

第215回定期演奏会 「ロマン派の末裔」

愛知県芸術劇場コンサートホール [出演] 大井剛史、吉井瑞穂(Ob.)

プログラム
ドヴォルザーク:交響詩「水の精」Op.107
R.シュトラウス:オーボエ協奏曲 二長調 AV.144
ラフマニノフ:交響的舞曲 Op.45

指揮 **大井剛史**

SPECIAL MESSAGE



今回、初めて定期演奏会に出演させていただくことを光栄に思っております。セントラル愛知交響楽団のみなさんとはこれまで何度かご一緒させていただいておりますが、リハーサルの最初の瞬間から迷いなく音楽の内容に入り込んでいける真摯な雰囲気をいつも感じており、今回の機会もとても楽しみにしています。

音楽監督の角田マエストロには私の全てを見透かされているような間柄なのですが、そんな角田さんが私にはラフマニノフの「交響的舞曲」を、と思われたようです。近代的なシャープな響きながらも、19世紀的なロマンティズムが濃厚に漂う、ラフマニノフが人生最後に書き残した音楽。心揺さぶられる音楽に浸れる瞬間が待ち遠しいです。

さらに、私にとって最愛の作曲家であるドヴォルザークの、これまた彼の創作の極致である交響詩から「水の精」を演奏できることも大きな喜びです。この曲だけでリハーサルを終えてしまわないよう気をつけなくては。

オーボエの吉井瑞穂さんは長らく憧れの奏者で、今は東京藝大でしばしば顔を合わせておりますが、協奏曲で一緒にするのは初めて。しかもシュトラウスの協奏曲という、これ以上ない贅沢さ。

3人の作曲家が晩年に辿り着いた、究極の作品のみでのプログラム。本番が7日間くらいあれば良いのに!

オーボエ **吉井瑞穂**

SPECIAL MESSAGE

皆さま、こんにちは。オーボエ奏者の吉井瑞穂です。このたび、セントラル愛知交響楽団の皆さまと、大好きな愛知県芸術劇場コンサートホールで初めて共演させていただく機会に恵まれましたこと、心より感謝申し上げます。

音楽家として、どの奏者にも、演奏を重ねるたびに寄り添い、自身を成長させてくれる特別な作品があると感じております。私にとって、R.シュトラウスのオーボエ協奏曲は、まさにその一曲であり、第二次世界大戦終戦直後の混沌とした時代に生まれたとは思えないほど、澄み切った美しさと希望に満ちあふれています。技巧と抒情、優雅さと緊張感、そして深い精神性が見事に織り込まれたこの作品は、一楽章から最終楽章まで途切れることなく、悠久の時を刻む泉のように湧き出ています。その名作を、セントラル愛知交響楽団の皆さまと大井マエストロと共に演奏し、聴衆の皆さまと分かち合えることを、心より楽しみにしております。



プラチナ席¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書)

12/18 木 開演 18:30

市民合唱団による 「悠久の第九」

愛知県芸術劇場コンサートホール



[指揮] 角田鋼亮(音楽監督) [ソプラノ] 澤江衣里 [メゾ・ソプラノ] 杉山由紀 [テノール] 城宏憲 [バス] 伊藤貴之
[プログラム] ベートーヴェン:「レオノーレ」序曲 第3番、交響曲 第9番 二短調 Op.125「合唱付」
S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 ※U25各席半額(入場時要証明書)

10/18^土
開演 14:30

超! 有名曲シリーズ Vol.12

愛知県芸術劇場コンサートホール

[出演] 松尾葉子、吉田文 (Org.)

プログラム
ベルリオーズ: 序曲「ローマの謝肉祭」Op.9
ストラヴィンスキー: バレエ音楽「火の鳥」組曲 (1919年版)
サン＝サーンス: 交響曲 第3番 ハ短調 Op.78 R.176「オルガン付」

指揮 松尾葉子

SPECIAL MESSAGE



パリ・ノートルダム大聖堂で聴いたオルガンの響きが今でもよみがえってきます。壮大な石の建物、想像を超える大きさのステンドグラスの中で天から降り注ぐオルガンの音、涙が止まりませんでした。40年以上も前の衝撃的な体験です。サン＝サーンスの交響曲 第3番は東京藝大の指揮科卒業演奏で初めて演奏しました。ブザンソンコンクール後の東京でのデビューコンサートも、この曲でした。何度となく取り上げてきたこの「オルガン付」の交響曲も、ホールにまだオルガンがなく舞台での電子オルガンに頼っていました。今では多くのホールに素晴らしいオル

ガンが設置されていて、観客の耳を満足させてくれています。外国から来日されたオルガニストは皆さん、日本のホールをうらやましくと語っています。サン＝サーンスは私の一番好きな曲です。そして、ベルリオーズの「ローマの謝肉祭」序曲を初めて指揮したのはNHK交響楽団でした。ストラヴィンスキーの組曲「火の鳥」も同じです。

緊張の連続の舞台から何十年も経て、ようやく演奏を楽しむことができています。

S¥5,000 (Sペア¥7,000) A¥4,000 (Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額 (入場時要証明書・ペア席対象外)

12/4^木
開演 18:45

ハイドンのロンドン精神 Vol.6

電気文化会館 ザ・コンサートホール

[出演] 角田鋼亮

プログラム
クラウス: 交響曲 ハ短調 VB142
F.J. ハイドン: 交響曲 第103番 変ホ長調「太鼓連打」
F.J. ハイドン: 交響曲 第104番 二長調「ロンドン」

指揮 角田鋼亮

SPECIAL MESSAGE



ハイドンの「ロンドン精神」もいよいよ最終回となりました。これまで活動を見守って下さり、そして一緒にハイドンの世界を味わって下さり、ありがとうございました。

103番「太鼓連打」、104番「ロンドン」も、チャーミングな旋律がありながら、これまで以上のスケールの大きさがあり、世界中で愛聴されていますね。そしてその堂々とした楽想の向こう側に次の時代を感じさせる要素がいっぱい詰まっていると感じます。この演奏会も、これで一区切りではありますが、この後ハイドンと繋がりのある異なる企画に続いていきますように。

さて、1曲目にはハイドンに献呈されたクラウスの交響曲ハ短調を取り上げます。常々この作曲家の作品を取り上げたいと思っていたのですが、ようやく念願叶いました。「走り抜ける悲しみ」といった雰囲気がある作品ですが、和音の扱い方が実に繊細で、その中に独特の美学があります。こちらも是非ご注目を。是非沢山の皆様とゴールテープを切れますように。

一般¥4,000 U25¥1,000 (入場時要証明)

12/6^土
開演 15:00

セントラル愛知交響楽団 第15回名曲コンサート クリスマスコンサート With 新妻聖子

[ゲスト] 新妻聖子

[指揮] 角田鋼亮

[管弦楽] セントラル愛知交響楽団

名古屋文理大学文化フォーラム (稲沢市民会館) 大ホール

セントラル愛知交響楽団がお贈りする「稲沢名曲コンサート」。第15回目となる今回は、稲沢出身でミュージカル女優の新妻聖子さんをお迎えし、ミュージカルナンバーやクリスマスの名曲を中心に、心に響く特別なコンサートを開催します。大切な方と一緒に、心温まるひとときをお過ごしください。

プログラム
◆第1部〈オーケストラステージ〉
♪ アンダーソン: クリスマスフェスティバル
♪ アンダーソン: そりすべり ほか
◆第2部〈新妻聖子さんをむかえて〉
♪ ゆめやぶれて ♪ SWEET MEMORIES
♪ 誰も寝てはならぬ ほか



©Kazutaka Nakamura



©Makoto Kamiya



昨年の名曲コンサートの様子

全席指定 一般¥6,000 U25¥3,000 (入場時要証明)
【一般発売 9/19 (金) ~ 会員先行販売 9/12 (金) ~】

賛助会員・リスナー会員のご案内

創立時より、地域の皆様に愛される『親しみのあるオーケストラ』を目指し活動を続けています。音楽を通じてより良い社会の発展のために取り組んでまいります。ぜひとも皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。



賛助会員 寄付して支援

年会費	個人会員…1口¥10,000~ 法人会員…1口¥100,000~ (会員期間は会費納入日より1年間)
特典	① 税制上の優遇措置 ② 定期演奏会等プログラムにご芳名掲載 (匿名可) ③ 主催公演チケットの先行発売・会員割引 ④ 公演および活動状況のご案内 ⑤ 楽員との交流会

リスナー会員 聴いて支援

年会費	特別リスナー会員…1口¥30,000 リスナー会員…1口¥10,000 (会員期間は会費納入日より1年間)
特典	① 主催公演へご招待 (対象公演・座席は当方にて指定) 〈2025年度ご招待公演〉 ◎特別リスナー会員 (10公演) 当団の代表的な公演を、いろいろなお席で鑑賞。 定期演奏会 [全7公演]、シリーズ公演 [ハイドンのロンドン精神 Vol.6、超! 有名曲 Vol.10、Wコンチェルト 成田達輝 Vol.2] ◎リスナー会員 (3公演程度) 「悠久の第九」をはじめ、バラエティーに富んだプログラムを鑑賞。 第93回日本音楽コンクール受賞記念演奏会、超! 有名曲 Vol.12、悠久の第九、金城学院大学ガラコンサート ② 定期演奏会等プログラムにご芳名掲載 (匿名可) ③ 主催公演チケットの先行発売・会員割引 ④ 公演および活動状況のご案内

子ども達にオーケストラの音楽を届ける活動

文化庁が、将来を担う子供たちの豊かな感性を育む場づくりや、芸術鑑賞能力の向上を図る目的で実施している「舞台芸術等総合支援事業」(学校巡回公演)は、今年度当団は、大阪府、和歌山県、三重県の小学校計7校への派遣を受けました。

約60名のフルオーケストラで、テーマを「物語・エピソードのある音楽」と題したプログラムで、クラシックの名曲の演奏に加えて、楽器紹介、児童の指揮者体験(ブラームスのハンガリー舞曲第5番を使用)や、全校児童との共演(モーツァルトのトルコ行進曲)などを組み入れて、オーケストラの魅力を存分に楽しんでいただいています。

1学期中では3校を訪問、2学期から3学期にかけて4校の訪問を予定しています。

開催校 **和歌山県 橋本市立隅田小学校** (6月11日)

校長先生からのお礼の言葉

日ごろからオーケストラに触れるような機会の少ない子どもたちにとって、貴重な体験、特別な時間になりました。音楽室のスピーカーから出る音を聞いているのと、目の前で一つ一つの楽器から音が出ていることを体験しながらお聴きするのは心に響いてくる度合いが違うことがよくわかりました。《中略》今回の体験は子ども達の心のどこかに残り、少しでも潤いのある生活を送ることができるのではないかと思います。なかなか体験できない素晴らしいものを本当にありがとうございました。

児童の感想

- きれいなえんそうをきかせてくれてありがとうございました。
- 音楽の大切さを気づかせてくれてありがとうございました。
- みんなでビリーブをうたえて楽しかったです。
- オーケストラのはくりよくすごくておどろきました。

担任の先生のコメント

帰り道に口ずさんだり、「音楽でバイオリンをしたい」と話がふくらんだり、興奮が収まらない子どもたちでした。みなさんの音楽を通して、心が一つになった瞬間だったと。子どもたちのためにすてきな時間をありがとうございました。



ガラコンサート 金城学院大学文学部音楽芸術学科との取り組み



ガラコンサート2023 カーテンコール(2023年11月11日三井住友海上しらかわホール)過去14回の出演者は126名、のべ201名。



超! 有名曲シリーズVol.6「イギリス」(2024年6月29日愛知県芸術劇場コンサートホール) 声楽コースの在學生と卒業生が賛助出演。当団は學生や卒業生に演奏の場を提供し、学科の公演運営や広報協力にも積極的に取り組んでいる。

2011年3月31日に金城学院大学と締結した「セントラル愛知交響楽団と金城学院大学の協力に関する包括協定書」に基づき実施されてきた連携事業の象徴的存在である『ガラコンサート』。2026年3月1日の開催で15回目を迎える。

音楽大学には大学のオーケストラがあるが、音楽芸術学科にはオーケストラがない。そのため学生の研鑽の場として設けた「プロオーケストラとの共演機会」がガラコンサートの始まりである。ガラコンサート出演が学生に与える影響は、演奏技術の向上のみではないという。基本的な挨拶が自然に身につく、オケとの共演をやりとげた自信や達成感から、たまたまや雰囲気に変化がみられるという。喜ぶべき効果である。

「ガラはこの15年で音楽芸術学科生の憧れのステージになりました。最近ではガラコンサートに出演することを夢見て、入学する学生もおります。毎年の公演でコンサートマスターの寺田史人先生をはじめ、オケの皆さんに音楽面のみならず精神的にも支えられていることを出演学生はもちろんのこと、私たち教員も感じています。オケからの愛(気持ち)は年々深まっているのでは。」(能勢健司:金城学院大学文学部音楽芸術学科教授)

「当初は“しらかわホールで隔年実施”が目標でしたが、結果的に毎年共演が続いています。さまざまな時代の作品に瞬時に対応していく力を試されている金城ガラは、オーケストラにとって一年に一度のよい機会になっていると感じています。2023年から広報面(学内外への出演者の紹介)で国際情報学科都築ゼミ生に関わっていただくことになりました。より多くの学生にオーケストラを知ってもらえれば嬉しです。」(瀬戸和夫:当団常務理事・元金城学院大学非常勤講師)

金城学院大学は2026年4月より学部学科の改組により更に本気で学ぶことができる大学に新しく生まれ変わるという。音楽芸術学科では学びの選択肢(待望の弦楽器も!)が大幅に広がる。当団はこれまで以上に大学との交流や連携を深化させ、演奏活動等を通じて地域社会に幅広く還元できるようオーケストラとして努めていきたい。

セントラル愛知交響楽団の現在地 ～ 転換期の先へ 小沢優子 (音楽学・音楽評論)

セントラル愛知交響楽団の演奏を聴くようになって約30年。振り返るといふ成長、発展してきたものだと思う。松尾葉子、小松長生、齊藤一郎、レオシュ・スワロフスキー、角田鋼亮。歴代の常任指揮者、音楽監督のもとでの印象的な演奏は数々あるが、大局的に見ると、2014年にスワロフスキーを迎えたのを契機に本格的な飛躍への道を歩み始めたのではないだろうか。チェコの曲を含むレパートリーの拡大、音響と表現力の向上など、スワロフスキーの熟練の腕がもたらしたものは大きい。そして、2019年には角田鋼亮が常任指揮者となり、知的なアプローチや巧みな選曲、若々しいエネルギーで楽団をリード。2024年からは音楽監督として運営にも関わり、楽団の存在感を高めている。

このような好調な流れの中で活動の拠点としていたしらかわホールが閉館となり、愛知県芸術劇場コンサートホールへと会場は移されることとなった。どうなるのだろうかと憂慮していたが、楽器編成は拡大され、観客も以前より増えて、新しい体制は軌道に乗っているようである。

愛知4大オーケストラ、という言葉が最近定着しつつある。名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、愛知室内オーケストラの4団体のことで、この「rara-ca Vol.10」が発行される頃には、ブラームスの4曲の交響曲をそれぞれが演奏するフェスティバル(8月31日)はすでに終わっていることだろう。4つのオーケストラが手を携え、この地域の音楽文化を盛り上げようという気運の中で、セントラル愛知もますます独自の個性を発揮していかなければならないだろう。家庭的で温かな雰囲気、親密なアンサンブル、機動力のある活動と柔軟な企画がセントラル愛知の持ち味だが、会場の変更に伴う昨年からの変化に対応すべくアップデートを重ね、魅力を高め、すばらしい演奏をたくさん聴かせてくれることを期待したい。



レオシュ・スワロフスキー初登壇となった第120回定期演奏会(2012年6月22日・三井住友海上しらかわホール ドヴォルザーク:スラブ舞曲全曲)。この公演がきっかけとなり、スワロフスキーは音楽監督に就任することになった。

クラシックこぼれ話 マーシー山本教授の

～ラフマニノフ、鬼の協奏曲と魂のダンス～

ピアノ弾きの皆さんに「一番怖い協奏曲は？」と聞くと、大抵こう答えます。「そらもう、ラフマニノフの3番やろ」と。

そう、《ピアノ協奏曲 第3番》。通称“ラフ3”。これ、ピアノ弾く側にとってはエベレスト。聴く側にとっては魂の絶景ツアー。どちらにせよ、ただごとじゃありません。

作曲されたのは1909年。ラフマニノフがアメリカ演奏旅行に向かう船の上で、ピアノもないのに“頭の中”で作ったというんだから、もうこの時点でバケモノです。で、その初演の相手がなんとグスタフ・マーラー! こっちもバケモノ。ピアノと指揮の怪物がアメリカで火花を散らした、まさに伝説の曲なんです。

第1楽章は、優しいメロディから始まるんですが、だまされちゃいけません。すぐに両手フル稼働の怒涛の展開。第2楽章では夢見るような歌心、第3

楽章では爆発するロシアンドラマ。演奏者は体力も精神もギリギリ。指揮者もついていくのが必死。そして聴く側は…拍手で手が痛くなる(笑)。

そんなラフマニノフも、人生の晩年になると、派手な協奏曲ではなく、**《シンフォニック・ダンス》**というオーケストラ作品にたどり着きます。故郷のロシアを想い、人生の終末を見つめるような音楽。そこにちらっと登場するのが——そう、《ピアノ協奏曲 第3番》のメロディ! あの激闘の旋律が、懐かしむように、遠くから響いてくるんです。なんと粋な引用でしょう。

つまりラフ3は、若き日の闘志。そして《シンフォニック・ダンス》はその人生を振り返るラストメッセージ。この2つを知れば、ラフマニノフという人の「人生の両端」が見えてくる。まるで、1冊の分厚い自伝のようです。

さあ、ピアノが炸裂したその先に、どんな物語が待っているのか。あなたの耳で、心で、体感してみてください!



発売予定の公演情報

一般発売
10/1(水)

会員先行発売
9/29(月)
9/30(火)

^{'26}1/24[±] 第215回定期演奏会「ロマン派の末裔」

[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30
[料金] プラチナ¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書)

^{'26}3/1^日 金城学院大学・セントラル愛知交響楽団
ガラコンサート2025

[会場] 東海市芸術劇場大ホール [開演] 14:30
[料金] 一般¥2,500 U25¥1,250(入場時要証明書)

^{'26}2/28[±] 超!有名曲シリーズ Vol.13

[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30
[料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書・ペア席対象外)

^{'26}3/12^木 Wコンチェルト 務川慧悟 Vol.1

[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 18:45
[料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書・ペア席対象外)

^{'26}3/21[±] 第216回定期演奏会「ロマンティックの真髓」

[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30
[料金] プラチナ¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000
※U25各席半額(入場時要証明書)

チケットシステム
ご利用のご案内

各公演のチケットは ◆ ホームページの「チケットシステム」で、スマホやパソコンから購入可能!
◆ 24時間いつでも、自分で座席を指定してチケットを購入可能! ぜひご利用ください。
チケットシステム <https://yyk1.karuku.com/caso-s/showList?lf=0>
◎ 購入可能なチケットは、チケットシステムの「公演一覧」にてご確認ください。※定期メンテナンス中はサービスを一時停止します。



セントラル愛知交響楽団
<https://www.caso.jp>

TEL052-581-3851 (10:00~17:30 土日祝日休)
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-8-17 ダイド名駅南第2ビル401

